



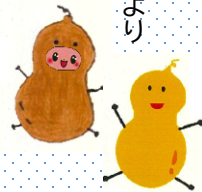
▲前半は講義形式、後半はワークショップ形式で岩代の現状や課題について考える時間になりました

去る三月十六日(木)、旧安達東高校(現在の二本松実業高校安達東校舎)一年生の『総合的な探究の時間』に集落支援員が講師を依頼されました。学年の先生から「岩代地域の現状や課題について話を聞くことで、生徒が地域の課題を考えるきっかけにしたい。そして今後、課題解決に向けて取り組んでいきたい」とご要望をいただきました。分担任して講師を務めました。

集落支援員活動報告

かわら版 いわしるろ

集落支援員だより



◆講義の内容について

はじめに「二本松市と岩代地域の人口の移り変わり」について統計資料をもとに説明し、高齢化率や一人暮らしの高齢者数などを紹介しました。次に令和四年度に行った自治会の実態調査(集落カルテ)を通して見えてきた岩代地域の課題について説明し、住民の皆さんから回答があった生活していく上での不安度にも触れ、その理由も紹介しました。最後はグループに分かれて都会と田舎の良い点、嫌な点について話し合い、代表者が発表しました。



▲熱心にメモをとる姿も

◆生徒さんの感想について

- * 後継者不足や空き家問題など、岩代の現状が分かって良かった。
- * 自分で地元のためにできることを考え、行動していきたい。
- * 若者の一人として、未来を明るく変えていけたらと思う。
- * 自分から発言したり、話し合いができたのが楽しかった。
- * 家でも親と話し合ってみた。
- * 田舎と都会の良い所や嫌な所について皆で考えられて良かった。

「都会と田舎、どっちに住みたい？」

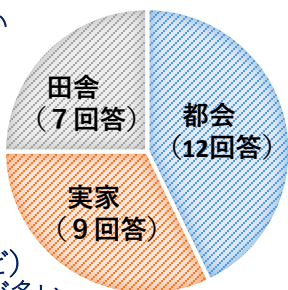
～授業&アンケートから高校生の声を紹介します～

授業の中で「将来、住みたいところは？田舎？都会？その他(実家)」という質問を行い、選んだ回答をもとにグループに分かれ、それぞれの良い点、嫌な点について考えていただきました。その結果を紹介します。

Q. 将来住みたいのは？

<都会の魅力トップ5> (生徒数20人/複数回答可) <田舎の魅力トップ5>

- お店や病院が近くて多い
- 仕事いろいろ選べる
- Wi-Fi環境がいい
- 交通手段が多い
- 流行にのれる



- 広々として静か
- 野菜や食べ物が美味しい
- 景色がよく自然が豊か
- 子育てがしやすい
- 人が優しい

<都会の嫌な点トップ5>

- 人が多い(満員電車など)
- 変な人や怖い人、犯罪が多い
- 交通事故が多い
- うるさい(騒音)
- 空気や水がまずい

<田舎の嫌な点トップ5>

- 虫が多い
- 買い物できる場所が遠い
- 病院が遠い
- 出会いが少ない
- 方言が難しい

→ 「実家」を選んだ人の理由として、「親が好きだから」「家族と一緒にいたいから」「楽だから」などというコメントがありました。

→ 「実家」と「田舎」を選んだ人が6割近くを占めることから、地元の良さを実感している人や卒業後も地元に残るか、近い場所で暮らしたいという生徒さんが意外に多くいることが分かりました。

二本松実業高校 安達東校舎での活動は 令和6年度まで継続します

高校の名称は変わりましたが、安達東校舎は昨年度に入学した生徒さんが卒業する2025年3月末まで農業コースの活動等も含め継続される予定です。6月には蜂蜜販売が始まります。



▲5月頃から採蜜がスタート。商品化された蜂蜜は道の駅「安達」で販売されます



◀「春のそよかぜ」シリーズとして、さくら、りんご、藤の花などの蜂蜜が店頭に並ぶ予定です

岩代支所の新職員を紹介します〜その②

「市役所OBとしての経験を生かし、住民の皆さんのお役に立てることが嬉しいです」
岩代支所集落支援員

佐久間 一郎さん

Q これまでの職歴は？

旧岩代町職員として奉職し、市町村合併を経て四十年間勤務。在職中は環境関係や社会福祉関係の仕事に就いていた時期もあり、退職後は郵便配達員も三年以上していましたので、岩代の地理には詳しい方だと思えます。



「市役所OB等として培ってきた人脈や土地勘を生かして仕事ができたら嬉しいです。どうぞよろしくお願い致します」

★佐久間さんの魅力に迫る★

★趣味・休日の過ごし方は？

趣味は名城&名湯めぐり。『全国百名城』の60城を制覇し、今年は70城制覇を目指しています。野菜づくりも大好きで、周りの人に「美味しい」と喜んでもらえるのが励みになっているそうです。

★子どもの頃、なりたかったのは？

警察官（バイクが好きで白バイの教官になるのが夢だったそう）

★これからやりたい事は？

奥様と旅行（お城&名湯めぐり）

Q 抱負やメッセージは？
岩代を歩いていると色々な人に声をかけられることが多いので、これからはその人脈やつながりを活用しつつ、集落支援員として住民の皆さんをサポートしていきたいと思っています。
皆さん、何か困っていることがありましたら、まず声をおかけください。直接的な解決は難しいかもしれませんが、少しでもお役に立てたらと思います。

～hot Information～
初夏の爽やかな季節に登山を

標高1,057m

日山（天王山）山開きのお知らせ

阿武隈高原中部県立自然公園に位置する「日山」の山開きが今年4年ぶりに開催されます。詳細は下記の通りです。お友達を誘い合わせの上、ぜひ参加してください。

- ◆日時/6月4日(日)
- ◆午前11時～山頂にて安全祈願祭が開催されます。
- ◆先着800名まで記念バッジを差し上げます。
- ◆問合せ/岩代支所地域振興課 ☎0243-55-2111

阿武隈高原中部県立自然公園

第37回 日山 山開き



先着800名まで記念品進呈
安全祈願祭
令和5年6/4日

▲阿武隈山系でも数少ないブナの原生林があり、散策も楽しめます。登山口は数か所あり、所要時間は片道1時間～2時間程度。水分補給をお忘れなく

～登山の後は、地元の温泉でリフレッシュ！～



▲昔から美肌の湯、肌のトラブルに効果のある温泉として知られてきました

地元の皆さんにおなじみの名目津温泉には、遠方から訪れるリピーターも少なくありません。日山登山の後、温泉に浸って汗を流すのもおすすめです。

住所/茂原字湯ノ作35
泉質/単純弱放射能冷鉱泉
料金/大人500円 小人250円
時間/午前10時～午後八時(受付は午後七時半まで)

日帰りの秘湯名目津温泉へ

岩代の歴史シリーズ

両属の将 石川弾正の生涯②

石川弾正顕彰会事務局長
日下部 善己

二 塩松と二本松
安達郡は、平安時代の延喜六年(九〇六)に安積郡から分割されて成立した。

室町幕府の初期、即ち南北朝期には、安達郡は阿武隈川を挟んで、東が安達東方、安達東根、西が安達西方、安達西根と呼ばれていた。その後「陸奥国安達東根内塩松」と言う地名が初めて使われ、当初は塩松が安達東地域の一部を指していたことが分かる。

十五世紀後半頃からは安達郡は阿武隈川を境に東は「塩松」、西は「二本松」と明確に区別される。これは二本松畠山氏、塩松石橋氏という中世戦国期の安達郡内の二大政治勢力の領域区分でもある。天正十九年(一五九一)以降、会津若松城主蒲生氏、上杉氏、蒲生氏(再蒲生)の安達郡支配下でも、また関ヶ原合戦直前、政宗への加増を約束した家康のお墨付きでも塩松郡、二本松郡と記した。しかし、寛永四年(一六二七年)の加藤利明の二本松領有以後は再び安達郡が使用され、以降は安達郡に統一され現在に至った。なお「四本松」は江戸期からの用語と考えられる。地名・郡名・領域名としては「塩松」を使い、領館名としては「四本松」を使うのが通例である。